

# 刀 剣 界

NEWS, TOPICS, INFORMATION, OPINION & EDITORIAL

2021.3.15 No.58

発行人 深海 信彦  
発行所 全国刀剣商業協同組合 編集委員会  
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-18-10  
新宿スカイプラザ1302  
TEL:03(3205)0601 FAX:03(3205)0089  
http://www.zentoshou.com/

第58号編集担当 赤荻 稔 飯田 慶雄  
伊波 賢一 大平 岳子 大平 将広 嶋田 伸夫  
清水 儀孝 生野 正 瀬下 明 土子 民夫  
綱取 謙一 土肥 富康 服部 暁治 深海 信彦  
松本 義行 冥賀 吉也 持田 具宏

## 組合活動の現状と当面の交換会運営について

■昨年一月に国内最初の感染例が発見された新型コロナウイルスは、一年を経て、感染者約三四万例、死者四六〇〇名以上と報告されています。三月七日をもって首都圏の二度目の緊急事態宣言は解除となるはずでしたが、再延長されました。ワクチン接種の普及による集団免疫化もだいぶ先のように、予断を許しません。当組合ではコロナ禍の下での組合活動について、安心・安全の見地から関係機関と協調し、可能な限りの措置を講じてきました。併せて、長期にわたらざるを得ない不意な状況を見据え、理事会や理事懇談会にて組合のあり方と活動全般を検討してきましたが、このほど交換会運営等につき当面の方針がまとまったので報告します。

### ★延べ会から現金会へ

組合では設立からの三三三年間、市場運営(交換会)を重要な事業と位置づけ、原則として毎月欠かさず開催してきました。当初は現金による売買決済でしたが、平成三年に延べ払いを取り入れ、現在に至っています。年度ごとの実績を見ますと、一〇年前(平成二十四年度)の出来高合計は四億二九〇〇万円でした。歩金は四パーセントです。一七・一六万円の収益となり、一七・一六万円の収益と大きな事故二件が相次ぎ、合計七八三万円の未回収が発生して

しまします。それを差し引くと、収益は九三三万円です。翌二五年度の出来高は二億二〇〇万円、従って歩金収入は八八八万円のはずでしたが、三件三九万円の事故がありまして、二六年度は一件ですが、四六万円の未回収がありました。結局、こうして一〇年間に合計一四〇〇万円の不良債権が生じ、その処理ができないまま今期に至りました。

督促状を送っても支払いは見られず、さらに内容証明郵便で催告書を送って不良債権の時効の中断を図るなど、回収に努めてきましたが、債務者の死亡や行方不明等により事実上回収不能の状態になっています。そこで、今期中に全額を貸倒損失として会計処理し、負の遺産を来期以後に積み残さないことにしました。

さらに、今後このような事故が起きる心配のない現金会とします。過去に現金会から延べ会に移行した際は、取引額の拡大を意図したものでしたが、今や現金会だから出来高が小さくなって延べ会だから大きいなどといった一律の傾向はないと言っています。現に一億超の実績を達成している現金会もあるのですから。

その上に来期以後、工夫やアイデアを重ねてより良い交換会としていくことが期待されます。★**年二回程度の大会を開催** 令和二年度の交換会実績は、緊急事態宣言下の四月・五月は休会としたこともあり、この三月の出来高を五〇〇万円と予測



全国刀剣商業協同組合特別交換会



平成30年に開催した特別交換会

すると、年間出来高は五五〇〇万円となり、当初予算の一億二〇〇〇万円に比して大きな差異が生じ、交換会だけの収支はマイナスとなります。そもそも交換会というのは、会場費と人件費に引き合う歩金を得られれば成り立つていくものです。組合交換会が仮に月一〇〇〇万円の出来高(現在では達成されていません)とすれば、歩金は四〇万円、必要経費は約二二万円ですから、年間一六万円の差益となります。交換会の直接経費だけで済むなら、毎回五五〇万円の出来高でも収支はゼロとなります。

ところが、ゼロ収入では組合は運営できません。少なくとも一二〇〇万円の一般管理費を賄わなくてはなりません。現状で組合費以外に大きな支えとなっているのは、刀剣類など買入れ品の売却による差益です。一五年ほど前までは、買い取りの依頼は多くはありませんでした。ところが、組合の存在が知られ信頼性が増すとともに次第に増加し、近年では都道府県教育委員会や公益法人の紹介も相まって、財政の大きな要素となっています。

組合の交換会が単に歩金収入を目的としたものでないことは、論を俟たないでしょう。定期的な組合員同士の親睦や情報交換、組合からのメッセージ発信も大切な役割です。しかし、それも正常な社会環境の下で関連に開催運営されてのことです。

今、開催回数が多ければ、いかに慎重を期しても感染のリスクが増すことは間違いありません。そんな中、勇を鼓して参加されても、期待した売買結果が得られないのでは、誠に申し訳ありません。殊に遠方からおいでくださる組合員には、何とか報いる方策はないものかと模索してきました。

そこで、この状況下における緊急避難策ではありますが、当面、交換会の開催回数を年二回程度とし、大会もしくは準大会として催すこととします。まずは五月か六月に、次いで十一月か十二月ごろの開催を予定しています。

平成三十年三月に特別交換会と懇親会を開催したところ、出来高四二七五万円、参加八〇名という結果も得られています。組合の買い入れ品や組合員の皆さんが持ち寄る優品を中心に、活発で効率の良い交換会にいたしたく存じます。

なお、この方針はあくまでコロナ禍における現状や、交換会の実情に対する当面のものであり、来期に至るまでの暫定措置でもあります。

ただ一つ言えることは、前述のように年間に多額な運営費用を要する組合としては、政府認可の組合ならではの事業に活路を見いだすべく必要があり、交換会の開催のみであれば、当日の会場費と人件費の支出だけで済みますが、組合員のための有益な事業展開をするためには、運営費に見合った、より積極的な活動が求められるというところでしよう。

刀剣・小道具・甲冑武具  
目白 **飯田高遠堂**  
代表取締役 飯田 慶雄  
〒161-0033  
東京都新宿区下落合3-17-33  
TEL 03-3951-3312  
FAX 03-3951-3615  
<http://www.iidakoendo.com>

アオバ企画株  
**高橋 一**  
〒113-0101  
墨田区大平四一九二一三〇八  
TEL 〇三三三六二二二二  
FAX 〇三三三六二二二二  
メール aobakk@pj8.so-net.ne.jp

日本刀の  
**江州屋**  
名品・名刀を販売  
店主 **小暮 昇一**  
〒529-1131  
滋賀県愛知郡愛荘町香掛80-1  
TEL 074914212736  
携帯 0901316217641  
<http://www.goushuya-nihontou.com>

古銭・切手・刀剣 売買 評価鑑定  
**(株)城南堂古美術店**  
代表 **田中 勝憲**  
〒153-10051  
東京都目黒区上目黒四一三一一〇  
TEL 〇三三七二〇一六七七六  
〇九〇三三〇八八九六二二  
FAX 〇三三七二〇一六七七七

日本刀 販売 買取 委託  
**e-sword**  
(株)e-sword  
(イーソード) 平子誠之  
〒350-1115 埼玉県川越市野田町14-19 1F  
TEL 049-246-6622 FAX 049-246-1407  
<http://www.e-sword.jp>  
日本刀 イーソード 検索  
mail:info@e-sword.jp

# 刀 剣 界

## ★教育委員会等 公的機関の皆さまへ 評価査定・売却等の相談に応じます

刀剣は古来、神聖なものとされ、社宝や家宝として大切に伝えられてきました。これからも所持できる環境が整い、受け継ぐ親族がいるなら、売却せずに身辺に置きたいと思うのは自然な心理です。訳あって売却のために刀剣店を訪れた方の多くは、お帰りの際、「どなたか大事にしてくださいる方に向けていただければ、祖先も許してくれるでしょう」と祈るようにおっしゃいます。

私たち組合員は、そのような思いを重く受け止め、一振でも多くの刀剣を後世に長く伝え残すことを使命と考えます。また、お客さまの信頼にこたえていかなければ成り立たない職業でもあります。

当組合では一昨年、まさに個々の組合員の社会的信頼と地位の向上を図り、もって刀剣の普及と発

展に資することを旨として「刀剣評価鑑定士」資格認定事業を開始しました。

併せて総理大臣認可の組合としては、関係諸官庁・機関との連携を密にし、刀剣行政の円滑化にも寄与してまいります。

現在、刀剣は国レベルでは警察庁や文化庁が所管し、自治体レベルでは都道府県教育委員会がその登録事務を担当しています。これらの業務の過程で、刀剣に関するさまざまな相談や依頼もありながら、公的組織であるが故に民間のニーズに応えることができない課題も生じていると伺っています。可能な限り、こうした要請に応えることも当組合の重要な役割の一部と考えます。

一例を挙げると、近年、教育委員会等からのご紹介で、当組合に

## ★交換会に参加される皆さまへ 東京美術倶楽部から確認とお願い

一月二十日、当組合が交換会市場として使用する東京美術倶楽部(以下「東美」)にて交換会代表者会議が開催され、以下の事項について確認とお願いがありました。

本件は、コロナ禍における参集者および東美従業員の衛生面確保、スペースの有効利用と保安を趣旨としており、関係箇所を要約してお伝えします。

- 一、利用日・利用時間の再確認
- 開門は午前九時。駐車場利用は開門後。それ以前にゲート前に並ぶことは通行の妨げとなるので避けていただく。
- 二、交換会会場内の整理・整頓について



一時残置用の仮置票

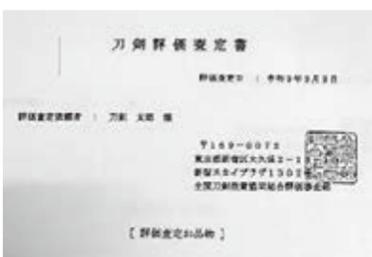
なお、会議前後に交換会場内(二天袋・地袋)にある各交換会の備品・書類等の確認作業があり、不要品の整理が大々的に行われました。最近、各交換会で忘れ物も散見されるようですので、お気を付け願います。

(伊波賢一)

連絡を下さる方が増えています。主に刀剣・刀装具の評価査定や売却の相談ですが、修復や保存、相続に関する問い合わせもあります。当組合へご紹介いただきますと、全ての質問に対して明確に回答できることも、全国各地からの要望に対応が可能です。

今後、各自治体や公益機関のご協力を得ながら、この事業の一層の拡充を図ってまいります。

(嶋田伸夫)



組合の発行する「刀剣評価査定書」(見本)

## NEWS & TOPICS 最高裁は刀の返還認めず 元所有者の敗訴が確定

山形県上山市の美術館「蟹仙洞」(長谷川尚志代表)が、所在不明になっていた重要文化財の刀三振について、刀剣収集家の男性が代表を務める大阪府茨木市の会社に引き渡しを求めた訴訟で、最高裁第一小法廷(池上政幸裁判長)は二月十八日、蟹仙洞側の上告を退ける決定をした。請求を棄却した一、二審判決が確定した。

一、二審判決によると、蟹仙洞で所蔵していた来国次・長船長義・同兼光の三振の太刀が平成三年、盗難に遭った。売りに出ているとの情報を得た前記男性は同二十六年、蟹仙洞に連絡した上で、同じ銘のある三振を約一億二千万円で業者から購入した。

一番山形地裁の審理中に被告側は「よく似た別の刀だ」と主張するようになり、令和元年の判決はこれを認めて請求を棄却した。

## NEWS & TOPICS 瀬戸内市が異業種と連携し VR動画を制作

岡山県瀬戸内市(武久頭也市長)は日本刀の聖地として知られ、備前おさふね刀剣の里(備前長船刀剣博物館)を拠点としてさまざまな試みも加え、刀剣文化の普及・振興に取り組んでいる。

その瀬戸内市と、5G通信等の最新技術による歴史文化資源の活用について共同研究を進めているNTTドコモ中国支社、VR動画の制作・配信を手掛ける360Channelが連携し、このほど、刀剣製作に関わる職人のVR動画を制作し、有料配信を開始した。

内容は、備前おさふね刀剣の里の工房で作業公開を行っている刀鍛冶・研師・金工師・鞘師・塗師の作業を疑似体験できる動画。画面を回転させることができ、視聴者があたかも工房の職人になった



備前長船刀剣 VR  
BIZEN OSAFUNE SWORD

かのような目線で楽しむことができる。また、実際の刀剣の文化についても理解を深められる構成となっている。

料金は日本語版・英語版とも三本セットで、レンタル三百円(二日間有効)、購入五百円。

詳細は360Channel(サンロクマルチャンネル) <https://www.360ch.tv/> まで。

## NEWS & TOPICS 平山郁夫や東山魁夷らの 偽版画が大量に出回る

日本画の巨匠、平山郁夫や東山魁夷、片岡球子らの絵画を基にした版画の偽作が、約十年前から国内で大量に流通していたことが明らかになった。

当組合も加盟する全国美術商連合会(全美連、浅木正勝会長)の構成団体、日本現代版画協同組合(日版協、青木康彦理事長)が、有名画家の作品が市場に不自然に多く出回っていることを受けて昨春、調査を開始。大阪府の画商が日版協に偽作への関与を認め、奈良県の工房に制作を依頼したと明かした。日版協は昨年十二月、この画商を除名処分とした。

関係者によると、偽作が確認された十作品は、平山郁夫の「流沙朝陽」や、東山魁夷の「草青む」、片岡球子の「桜咲く富士」など。工房経営者は新聞の取材に「約四十作品を各二十枚ほど刷った」

## 甲冑の話題

(二社)日本甲冑武具研究保存会

今回は当会で開催している甲冑武具審査会について、少し紹介させていただきます。

甲冑武具審査会は昭和四十三年から毎年一〜二回、各地(主に東京都内)で開催しています。これまで七〇回、四九八二点の甲冑および馬具等の武具を対象に、専門家によって審査・評価を行い、認定書を発行しています。

多い年には一日に二〇〇点もの審査の申し込みがありました。

その中で特に貴重な歴史資料や優れた美術工芸品でもある品を「重要文化資料」として、現在までに五〇〇点余りが認定されており、その写真と記録を『重要文化資料図録』として現在、第五号までご確認、お問い合わせください。

審査は会員・非会員を問わず受けることができます。審査の範囲は、「甲冑類」「弓具類」「馬具類」その他(旗幟・捕具・指揮用具・合図用具・陣営具・小武器・付属具)の四項目となっています。ご興味・ご関心がおありでしたら、ぜひ当会サイト、または事務局までご確認、お問い合わせください。

余談ですが、過日当会にとある小学生のお子さんがいるお母さまからご質問を頂きました。ご縁があつて入手した兜について、お子さんが興味を示しているのを教えてほしいとのことでした。その兜は筆者が生まれたころに開催された審査会にて、認定を受けたものでした。当時の所有者のお子さんに興味を持ってもらえたことに不思議な感慨を抱くと同時に、そういうものを好きな者の一人として、未来にきちんと継承することの大切さをあらためて認識した出来事でした。(一般社団法人日本甲冑武具研究保存会理事・佐々木亮)



重要文化資料図録

# 「登録証問題」を考える 26

## 事例 38

迅速・丁寧・誠実な登録事務

「今お読みになられた表銘の内容は、本県の登録台帳の記載内容と一致しません。取得した短刀の登録証の内容確認をした際に、埼玉県銃砲刀剣類登録担当の方から言われた言葉である。」

問題の短刀の登録証と現品の表銘は、別掲の通りである。

登録証は確かもので、疑う余地は全くない。長さ、反り、目釘穴の数、裏銘は、すべて現品と一致している。それなのに、表銘だけが台帳と異なるという。昭和五十二年十一月十一日に埼玉県の登録審査会で、間違いなく交付されたものなのに、である。

「対応を検討します」と、いったん電話を切った後、現品の全身と茎の表裏を写真撮影して資料を作成し、手紙を添えて、埼玉県の担当者に送付した。手紙には「こんな崩し字を一体どう読めばいいのか、われわれはどうしたらいいのか」と書いて、率直に疑問をぶつけてみた。が、これまでの経験

を踏まえると、おそらく、登録審査会で現物確認になることが予想された。それなら行くしかないけど、いやだなあ……気分は沈む。

篆書体風の銘は「徳義作」



翌日、埼玉県教育委員会から電話があった。手紙と資料を見たこと、そして、登録審査の先生に見せて協議するので、少し時間が欲しい、ということだった。数日経ったある日、電話がかかってきた。当方より送付された資料を基に、埼玉県の登録審査委員に相談したこと、そして、現在付いている登録証の内容はおそらく書き間違いであることを認めるとい内容だった。原票は源に記入する段階で、書き間違えたのであろうから、訂正した登録証を送る、届いたら、現状付いている登録証を送り返してほしい、今回、資料作成で手数をかけてしまいい、心からわびる、というような内容であった。

大阪刀剣会  
吉井唯夫

美術刀剣、小道具、武具類の  
売買、加工及び御相談承ります

大阪市中央区日本橋二丁目一  
TEL 〇六-六六三一-二二一〇  
FAX 〇六-六六四四-五四六四

三峯美術店  
町田久雄

埼玉県秩父市野坂町一丁目一六二  
西武秩父駅連絡通路町久ビル内  
TEL 〇四九四-二二二-三〇六七  
FAX 〇四九四-二二二-三〇六七

を認め、訂正交付してくれたのだ。これもありがたい措置だった。登録時、茎の写真が撮影されていれば、現物確認審査を経ずに訂正交付できるのだ。登録審査時、茎をデジタルで撮影する例はほかに千葉県がある。平素お世話になっている東京都は対応がソフトだが、デジタルでの撮影は採用していない。ぜひ検討してほしい。今回の埼玉県の、迅速・丁寧・誠実な対応には、本当に感心した。銃砲刀剣登録業務は、余計で本来の業務ではないのやっていると、という感じの対応をするところや、初期の登録証の記載ミスも、少し前の登録証の記載ミスも、最近の登録証の記載ミスも、すべて私のせいではありませんと言わんばかりの態度で、初期登録のミスが明らかでも一切わびない登録担当者……。登録証がらみの不愉快な思い出は数々あるが、今回の埼玉県の担当者さんのように、心こもった対応をする人も間違いなく存在することを、喜びと感謝とともに報告しておく。(登録証問題研究会)



松井氏ゆかりの八代城

# 地震後の熊本城と一国一城令の例外・八代城

本年一月七日、菅首相により緊急事態宣言が出され、皆さん自粛をやむなくされていますが、昨年十一月、Go To トラベルが盛んに行われていたころ、小生はH美術骨董館の仲間たちと熊本県に行ってきました。まずは八代市。熊本空港から車で一時間弱の所に、八代市はあります。「県内第二の街」とのことですが、それにしては寂しい感じがします。スマホで調べると、熊本市は人口七十三万人、八代市は十二万五千人で確かに二位でしたが、三位以下は十万人に満たない市町村ですから、熊本市との差はしょがないことだと思えました。翌朝は早起きして、八代城址に行ってきました。現在残っているのは本丸の区画と北の丸の一部だけで、本丸も立派な石垣はあるものの、建物は明治期に完全に取り壊されたそうです。

加藤清正が熊本城を造った時のスタンプがまだ残っていたのである。元和六年(一六二〇)、江戸幕府の許可を得て築城したのは第二代藩主加藤忠広。城は同八年に竣工、一国一城令(慶長二十年(元和元年)の下で全国的にも異例のごとくでした。薩摩藩への備えというのが通説です。加藤氏没落後の寛永九年(一六三二)、豊前小倉藩三十七万石の藩主だった細川忠利が肥後熊本藩五十四万石に転封され、熊本城へ入城。忠利の父忠興(三斎)は幕府の内命を受け、隠居料九万五千石をもって八代城に入った。正保二年(一六四五)にこの三斎が亡くなると、細川家当主光尚は筆頭家老の松井興長に三万石を与えて入城させました。その後、松井家は江戸時代が終わるまで八代に居住し、八代地域を支配しました。松井家といえは、興長の父康之はもと足利十三代將軍義輝に仕えていましたが、永禄八年(一五六五)に義輝が殺害されると、細川藤孝(幽斎)に従うようになりました。そして、織田信長から百七十三石余りの知行を拝領し、豊臣秀吉・徳川將軍家もこれを追認したので、松井氏は細川家筆頭家老にして幕府直参という二つの顔を併せ持つ特異な家となったのです。

漫画「信長を殺した男」(原案は明智憲三郎)によると、羽柴秀吉が鳥取城を攻めた天正九年(一五七五)、その麾下にいた康之の家族が城から出てきます。秀吉は彼らに炊きたての飯を振る舞います。すると、人々は次々と死んでゆくの。康之の「飯に毒でも入れたのか」との問いに対して、「餓死寸前の人間に腹一杯食わせれば、死ぬに決まっています」というのが、秀吉の答えでした。この時は『刀剣界』編集委員会のTさんと「見たいけれど、大刀剣市もあるし行けないね」と残念がったものです。松井家の刀では、何と云っても重要文化財の松井江でしょう。松井興長が所持していたことにより、その名があります。貞享二年(一六八五)、綱吉の娘である鶴姫が紀州徳川家に嫁ぐ際、本阿弥千二代光常が金二百枚と極めた折紙を添え、引出物として送られました。松井家から徳川將軍家の所有となった経緯は不詳ながら、興長が八代城を与えられた際に献上したのではないかととも言われています。さて、翌日は熊本市で仕事でしたが、この日も早起きして復旧中の熊本城へ行きました。熊本城では、工事用スロープを活用した特別見学通路があり、これまで

松井康之が秀吉の恐ろしさを知った瞬間でした。本能寺の変の後、明智光秀から細川家に加勢依頼の書状が届くのですが、康之は藤孝・忠興父子に秀吉の恐ろしさを話し、中立を守るよう説くのです。その言に従い、藤孝は隠居して幽斎となり、忠興は嫁である光秀の娘たま(後のガラシヤ)を丹後国の三戸野に幽閉します。事の真偽はともかく、細川家の命運に関わっている人物として描かれています。松井家と言えは、刀と刀装具のコレクションでもわれわれには知られています。実戦に適した「用の美」を備えたものが多く、平成二十六年十一月に八代市立博物館で開催された「松井家の刀剣と刀装具」に出品された刀剣類二十二点には全て拵が備わっていました。



復旧が進む熊本城天守閣

にない視点で見学できました。数寄屋丸の石垣が一部崩落しているのが、普段なら見上げる位置ですが、同じ高さで見られるのです。そして、本丸御殿の地下を通り、天守閣へと至ります。天守閣に入ることはできませんでしたが、四月二十六日からは内部も一般公開されるそうです。その後、長屏沿いを歩いて須戸口門まで行ってみました。そこは閉鎖されていましたが、小生と同じくらいの年齢の職員さんがいたので、聞いてみました。――昭和三十五年に建てられた天守閣が早めにリフォームされたので、一般へのアピールとして見学できるようにしたのです。しかし、この須戸口門の内側の重要文化財である北十八間櫓や東十八間櫓などの石垣は大部分崩落しており、この修理には相当の期間がかかります。石垣にナンバーを付けて組み直すのは当然ながら、割れた石を再現できる優秀な石工が二人しかいないんでね。復旧まで二十年とか言ってるけど、三十年か、それ以上かかるかもしれないね……。熊本城の完全復旧には、まだまだ時間が必要みたいです。(持田具宏)

刀剣業界の情報紙である『刀剣界』では、記事を募集しています。ニュースや催事情報、イベント・レポート、ブック・レビュー、随筆・意見・感想など、何でも結構です。写真も添えてください。組合員・賛助会員以外の方も歓迎です。ただし、採否は編集委員会に諮り、紙面の関係で編集させていただくことがあります。

組合こよみ (令和3年1~2月)

- 1月8日 銀座長州屋において『刀剣界』第57号編集委員会を開催(再校)。出席者、深海理事長・伊波副理事長・清水専務理事・網取常務理事・生野理事・土子氏氏氏
12日 組合事務所において清水専務理事が刀剣の評価・査定
17日 東京美術倶楽部において組合交換会を開催。参加39名、出来高3,367,000円
17日 東京美術倶楽部において理事懇談会を開催。出席者、深海理事長・伊波副理事長・土肥副理事長・服部副理事長・清水専務理事・嶋田常務理事・網取常務理事・飯田理事・大平理事・猿田理事・生野理事・瀬下理事・松本理事・赤荻監事
17日 東京美術倶楽部において『刀剣界』第58号編集委員会を開催(初校)。出席者、深海理事長・伊波副理事長・服部副理事長・清水専務理事・嶋田常務理事・網取常務理事・飯田理事・大平理事・生野理事・瀬下理事・松本理事・赤荻監事・土子氏

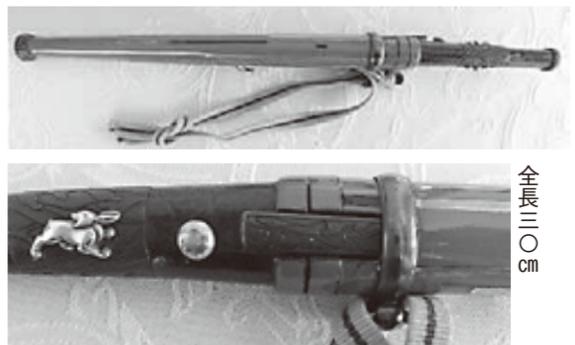
私が出会った珍品・逸品

野田一郎

南蛮風朱漆合口短刀拵(左利き逃)

往時、左利きは奇異とされ、右利きの拵を代用したと考えられ、当初から左利き用として逃えた拵は少ないと思われま。

刃長六寸弱、冠落とし造りの無銘大和物と思しき刀身を収容すべく逃えた拵の詳細は、全長一尺、朱漆に金の延べ板を霞風に散らす。金物は縁、筒金、小柄小尻を臙銀地に波を高く彫り、目貫は兎を金無垢で彫り、金無垢の返り金を揃えている。



全長三〇cm

金板の霞散らし、唐木と金具の姿は南蛮風の雰囲気であり、肥後の揃金具は左利き用に特注された高級な短刀拵である。

南蛮風短剣を模したか、丸輪金具の栗形は差すも吊るすも、時の用に合せている。

折々の古都

桜はなを待つ

石井理子

息子の同級生に「千桜ちゃん」という女の子がいる。

ある日、千桜ちゃんの母親Mさんとお茶を飲んでみた。そしてふと前から気になっていたことを尋ねてみた。

「千桜ちゃんって四月生まれ？桜が満開の頃に生まれたの？」

Mさんの回答は違っていた。「いや、それが二月生まれなんだよね。桜が待ち遠しいね、という気持ちで名付けたんだよ」

それはいいね！Mさんらしくて素敵だね、私はこの話を印象深く記憶していた。今回、桜にまつわる話を書こうと考えているうちに、この話を思い出した。そして「書くていい？」とMさんにお願いと快諾してくれた上に、実はもう一つ意味があるんだと教えてくれた。

四十代から五十代の方は覚えて



おられるだろうか？中学二年生の国語の教科書に「言葉の力」大岡信」という作品がある。大岡氏が染織家の志村ふくみ氏取材した時のエピソードについて書かれている。

桜色の美しい着物の染め方を尋ねる。大岡氏は、てっきり桜の花びらを煮詰めて染めるのかと考えていたようだ。しかし、実際には黒っぽい桜の木の皮を煮詰めて染

料を作るのだという。つまり、美しい桜のピンク色は幹、樹皮、樹液から生み出されるのだという。Mさんは、この話にいたく感銘を受けた。

桜の花の表面の美しさだけではなく、美しいピンク色を作る樹皮や樹液のように内面の美しさがあるふれるような人になってほしいと願って娘に名付けたと語った。そして、こう続けた。

「新型コロナウイルスのせいで、皆辛いよね。でも、今は花が咲く前の桜の時期みたいなものと思うようにしない？」

すっかり元気になって、私は電話を切った。どう控えめに見ても、事態は非常に深刻だ。いつになれば収束するかわからない流行り病。今年もお花見すらできないかもしれない。しかし、私たちは日々を忠実に生きることにできない。そんな冬の日々が辛くなる。

それでも、咲き誇る千の桜を想って、日々を重ねていく。

待たない。その場合、国宝「短刀銘吉光」、宗茂遺愛の重要文化財「剣銘長光」など約三万点の収蔵品や、柳川古文書館に寄託する重要文化財の立花家文書も第三者の手に移る可能性があった。宗茂のNHK大河ドラマ招致や、柳川観光そのものにも大きな打撃が危惧されていただけに、関係者・市民はひとまず安堵しているが、状況次第で今後も予断は許さない模様だ。

NEWS & TOPICS

立花家史料館がCFで閉館の危機免れる

初代の立花宗茂をはじめ柳川藩主ゆかりの文化財を所蔵する立花家史料館(福岡県柳川市、五〇九四四一七七〇九四四)の運営団体、公益財団法人立花財団(立花宗鑑理事長)が財政難に直面し、去る十二月十一日に運営費をインターネット上で募るクラウドファンディングを開始したところ、多くの支援が寄せられ、当面の危機は回避したという。

公開当日に第一目標の六〇〇万円を、そしてネクストゴールとして掲げた二〇〇万円も四日目に達成、募集は一月三十一日に終了したが、最終的に二四三人から二二六二万四〇〇〇円の寄付が集まった。

同財団は、立花氏の一族が寄贈した史料や武具、調度品の研究や保存・公開などを目的に平成二十五年に設立、翌年には公益財団法人に認定された。多くの旧大名家の収蔵品が、明治維新の混乱や戦災、華族制度の廃止と財産課税などによって失われる中、立花家は伝来の品々を守り続け、散逸を防いできた。

同財団によると、収入は史料館の入館料が大部分を占める。しかし、毎期(十二月十一月)の入館者数の平均約十万人に対して、昨期はコロナ禍により約三万人に激減。収入見込みは約二二〇〇万円にとどまった。このまま減収が続けば、今期末には解散も危ぶま



約3万点の文化財を収蔵する立花家史料館

交換会紹介

第一回大宮会に参加して

令和三年一月九日、「大宮会」が開場しました。緊急事態宣言が発出され、外出自粛が唱えられる中、会場には六十名を超える大勢の刀剣商が集まりました。もしコロナ禍でなかったなら、入場できない来場者が出たと思えるほどの賑わいぶりでした。東京近郊を中心に遠方からの出席もあり、会主新堀徹さんと旗谷大輔さんの広い親交ぶりが窺えます。

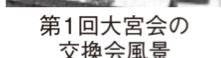
第一回大宮会を終えて、新堀徹さんにコメントを頂きました。「緊急事態宣言の中、たくさん刀剣商にお集まりいただき、感謝しています。今回大宮で新しく市場を始めようとしたきっかけは、将来的に明るい展望が持たず、このまま何もせずにいいのだからかと日々考え、地方の市場を回ると、若い人から年配の方まで

知らない業者や新しく始める業者などがまだまだ大勢いると知ったことです。こういう人たちの交流や売買を広げること、私たちのビジネスチャンスも広がるのではないかと旗谷大輔さんと考えて、刀剣市場有望の地と思える大宮で発足することにしました。

歩金一割という点は賛否がありますが、高いことは否めません。他の市場の倍ですから。しかし、他の市場の倍自分たちが頑張って買い上げ、納得してもらえよう一生懸命取り組みたいと思います。何でもおっしゃってください。

組合員の皆さまの積極的なご参加をお待ちしています。よろしくお願ひします(お問い合わせは〇九〇一七八三三二二五九)

初会では多くの刀剣商が集まり、大盛況でした。その多くが若手で、全刀商の組合員でない刀剣商も大勢おりました。新堀さんと旗谷さんの大宮会の発想は、われわれも見習わなければならないチャンネルかも知れません。一人一人が将来展望を開く試みを何か始めるべき時であると思いました。(松本義行)



第1回大宮会の交換会風景

新刊紹介 『日本刀と日本人』

定価(本体八〇〇円十税) 幻冬舎メディアコンサルティング



銀座 日本刀 ミュージアム 泰文堂

代表の川島貴敏さんが『日本刀と日本人』という真っ勝負のタイトルで著書を出版された。

前書きにあるように「日本刀はただの武器ではないのです。日本の精神文化の根源です。先人たちが守ってきた日本文化をもっと広く、深く、後世に伝えていきたい。そのような思いが強くなり、そのような思いが強くなり」執筆に

至ったという。そんな熱意は読者に伝わっているようで、一般の方から次のような読後感も寄せられている。「この本を読んで、日本刀に対する認識が変わりました。日本人と深い関わりがあり、現在の私たちは戦後教育で過去の日本文化が消されていたことを理解することができました。ちょっと専門的な部分もありましたが、刀の知識のない私にもわかりやすく楽しく一気に読めました。若い人たちにぜひ読んでいただきたいオススめの一冊です。」

イベント・レポート

都留市博物館ミュージアム都留「崇高なる造形 日本刀一各刀と名作から識る武士の美学」

鉄芸による刀職者実演鑑賞会開催される

一月九日、特別展「崇高なる造形 日本刀一各刀と名作から識る武士の美学」が開催されている都留市博物館ミュージアム都留において、国内外で日本刀文化普及を目的に活動する団体「鉄芸」による刀職者実演鑑賞会が開催された。

近年では刀剣を擬人化したゲーム「刀剣乱舞」をきっかけに日本刀を愛好するようになった刀剣女子の参加者が多いが、ほかにも漫画やアニメ「鬼滅の刃」の影響が子供たちの姿も多く見られた。小中高校生を対象にした鞘作り教室のワークショップでは、子供たちが鉋を手に持ち真剣な面持ちで鞘を削り、日本刀鑑賞の仕方等を学ぶ体験講座では皆真剣に日本刀を手

に持ち鑑賞法を学んでいた。驚くことに、日本刀をもっと勉強したいとその場で日本美術刀剣保存協会山梨県支部に入会を希望する少年が現れるなど、関係者を大いに喜ばせていた。



来場者の質問に答える藤代研師

愛刀家の自己出品が特賞を受賞

古来、わが国で継承されてきた「お守り刀」という文化。その魅力を発信することを目的として全日本刀匠会が主催する「お守り刀展」が、坂城町鉄の展示館と林原美術館の二会場での展示を終了した。

- 二席・特賞 木村光宏
三席・入賞 河内一平
四席・入賞 久保善博
五席・入賞 根津 啓

この記念すべき初回において、一般愛刀家から出品された作品が何と特賞一席に輝くという快挙が起きたのである。栄誉を授かったのは、多くの現代作家と交流を持ち、現代刀への造詣も深い戸塚悦子さん。

素晴らしい賞を頂いて

戸塚悦子

この度は「お守り刀特別展」願いを込めて「一各身の部におきまして、市民審査員賞一席・特賞という栄誉ある賞を頂き、誠にありがとうございました。」

今回は注文者も出品が認められるとのことでしたので、一個人として出品させていただきました。表は山桜、裏に守宮の彫りがある一風変わったお守り刀には、さまざま願いを込めてあります。

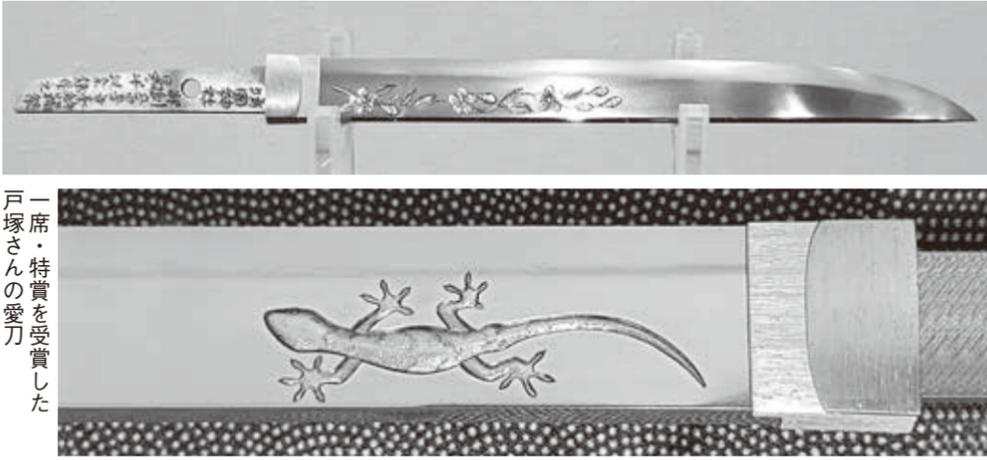
子供の成長や家運を見守るといってお守り刀本来の意味を考え、長さは七寸五分三厘とし、山桜の彫りは葉が七、蕾が五、花が三とこちらも七五三と致しました。また、葉は過去、花は現在、蕾は未来を表し、花より蕾が多いのは未来が花開くようにと、装剣金工師の木下宗風さんが考案してくれました。

裏の彫りは、家の守りとして守宮を依頼。まるで本物の守宮が刀に張り付いているような愛らしい姿は、眺めているだけで幸せな気持ちになれます。

このように刀職関係者様とゼロから自由に刀を作り上げる楽しさは、現代刀の注文者ならではの醍醐味です。

昨今の刀剣ブームで刀剣を所持する若い方たちが増える一方、注文打ちには敷居が高いという声をよく聞きます。これを機に注文打ちに興味を持っていただき、自分のためだけに生まれた刀を手にする方が増えればと願ってやみません。

最後に、わがままを叶えてくれた刀匠、刀職関係者様、投票していただいた皆さま、また、たくさんのご縁に感謝を込めてお礼のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



一席・特賞を受賞した戸塚さんの愛刀

「具足」の意味

網取 譲一

今度は自転車に乗らない「俺」が登場。甲冑についてつづやく予定だ。ツール・ド・フランスについて語るよりも、甲冑について誰にでもわかるように語ってほしいと嶋田常務理事。ごもつとも。

当組合の「刀剣評価鑑定士」認定試験問題集の作成を手伝わせてもらった時のこと。俺の考えた設問は「当世具足の同じ家地で仕立てられた籠手・佩楯、照当、これを何と称しているか? A 三具、B 小具足類、C みつこ」。

Bと答えた回答者にボーナスポイント、Cと答えた回答者から余分に点を引いたらどうか、と発言したところ、日本甲冑武具研究保存会の元常務理事・棟方貞夫氏が大反対。みつこは福島方面における独自の言葉、いわば方言に近く地方文化もそこに伴う。それを頭から否定するのはどうか、という訳だ。では、どれを選んでも正解の点稼がせ問題にするのはどうか、と食い下がったが結局、却下。

業者さんや、愛好家の皆さんが一番使るのがAの三具。都合の良い言葉だが、実はこれは俗称。頭部・胴部以外の防具で、防御の完全性を導く部分を小具足と称し、籠手・佩楯・照当はその中の三組だ。「当世具足」という単語が確立してから過去を振り返り、そう

称したのではないという。故山岸素夫氏によれば、平家物語にこの言葉を見ることができるといって、ここからは古老聞き書き。この「具足」という単語をじっくり咀嚼することに甲冑のいろいろなきわがわかってくると言われたことがある。「具」この字は持田理事の名前の中に! 彼の場合「とも」と読む。「とも」に足りる「こ」をさらに咀嚼すると、俺には(俺だけが)タミヤさんハセガワさんという模型屋さんのプラモデルがイメージされてくる。

この二社の製品は、部品がそれぞれ呼び合うようにピタッとくっつくのだ。つまり甲冑も例えば肩上下部のコハゼが無理にパツンパツンの八の字に引っ張られ、籠手と苦し紛れに装着されていたら、それはドナーからの移植の関係と見るのが無難。

もう一度資格認定試験問題の話。俺の考えた設問は、次から次へと却下。「天然記念物にも指定されているカブトガニが生息しやすい海環境は? A 深海、B 干潟」「日本を代表するパティシエ鑑塚俊彦氏の死別した女優であった夫人は? A 扇千景、B 川島なお美」。良い問題だと思っただけどな。

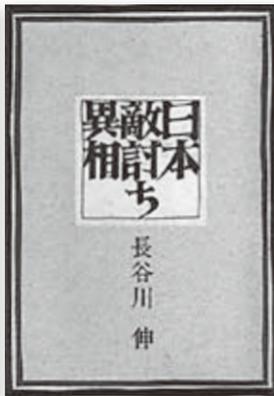


同じ家地(布帛)で仕立てられている

ブック・レビュー BOOK REVIEW

仇討は美德か犯罪か——白井六郎の明治最後の仇討ち

長谷川伸「九州の首と東京の首」(『日本敵討ち異相』所載) 中央文庫  
吉村昭「最後の仇討ち」(『敵討』所載) 新潮文庫  
葉室麟「蒼天見ゆ」角川文庫



あった。仇が見つからないまま終わってしまうケースも結構あったという。それだけに成就すれば「よくぞ」と称賛されたのである。思えば、忠臣蔵も仇討ちの物語である。苦難の末に宿願を果たす、悪い奴を倒すという物語、とりわけ日本人には受けがいい。

勸善懲悪なんて時代遅れだよ、というあなたも、『平沢直樹』や『町口ロケット』を喜んで見ているでしょうか？

さて、今回の三冊は明治十三年十二月十七日、東京の旧秋月藩主の黒田長徳屋敷で、旧藩士白井六郎が父巨理を殺害した一瀬直久を討った事件にまつわる物語である。その暗殺は江戸時代に行われた。明治維新で法制は変わり、江戸時代に美談とされた仇討ちも、明治時代には犯罪とされてしまう。

「父の仇、覚悟！」短刀を抜いて身構える娘とその弟。相手の男は不敵な笑みを浮かべながら「お父上のところへ、拙者がご案内いたそう」と言いつて刀を抜いた。

時代劇によくある場面である。あわやというところで、飛んできた風車に男がたじろぐ一瞬、「エイ」と突いた娘の短刀が男の胸を貫き、「ヤア」とばかり、弟が胸を突き抜く。男は絶命。「父母の無念を晴らすことができず」「これで晴れてお国に帰れます」「よかったです。カッカカッカ！」めでたし、めでたし、である。仇討ち…それは苦しい道で

このテーマに挑んだ三人の作家。一人は長谷川伸。池波正太郎の師匠である。題して『九州の首と東京の首』。物語を六郎の仇討ちに絞り込み、事件の顛末、宿願果たした六郎の刑が決まり、服役し、出獄するまでも実に簡潔に数行である。登場人物の情や思いやり、憎悪などには深入りすることもない。きっぱりとした筆致で、読後感もさっぱりとしている。が、物語は読者の心に残る。

二人目は吉村昭。『最後の仇討ち』と題し、白井巨理の帰国から始まる。暗殺の顛末、父亡き後の六郎の悲しくも寂しい生涯が切々と書かれる。しかし、物語はその後も続き、優しい結末へと向かう。吉村昭が綿密な史料の読み込みと調査に基づき、巧みな文章で、淡々と物語を紡ぎ、思わず引き込まれる。三人目は葉室麟。『蒼天見ゆ』である。葉室は吉村が切り拓いた世界を、さらに広げているような感じがする。主人公は二人。前半は六郎の父白井巨理。長男六郎と娘つゆに「蒼天を見よ」という言葉を遺し、非業の最期を遂げる。後半の主人公は六郎。父の仇を探し、終に宿願を果たす。その後の物語が続く辺りは吉村と同様。テーマは同一で描き方は三様。長谷川は感情、思い入れをあえて交えず書いている。吉村にも似た味わいがある。両者は、そう、森隲外の小説に通じるのである。これに対し、葉室の作はロマンティックである。若い美形の女子、人情味厚く、無敵の山岡鉄舟、そしてまるで『氷川清話』からそのまま飛び出してきたような勝さんが登場して縦横無尽の活躍。「こうだったらいいのにな」が筆で表現された葉室ワールド。それが一番いいなど言ってしまうのは、ただ、同一テーマについて書かれた世代の違う三人の小説家の、各々の持ち味を堪能できる、まさに得難い機会である。ご一読をお勧めする次第。(小島つとむ)

敗戦後の指揮官の破天荒な足跡

『潜行三千里 完全版』 辻政信著 定価一〇〇〇円十税 毎日ワンス



日本側の被害も甚大であった。ノモンハン事件の歴史的な評価、そしてそれがどのような影響をもたらしたのか、さらなる検証が必要である。辻政信は決死の覚悟で自ら偵察機に乗り、満州とソ連の国境を越えて(見つければ撃たれるは必定)、超低空飛行で現地を見、時には六千メートルの上空から、ソ連軍飛行場を偵察し、作戦参謀として活躍した。詳しくは『ノモンハン秘史』をお読みいただきたい。さて、一九四五年八月十五日、戦争は終わった。辻はタイにいた。彼は上官の命令で潜行することになった。タイで修行する日本の僧侶に化けて日本兵の納骨堂に住み、華僑に変装し、中国への渡航を試みた。辻は東洋連盟思想の持ち主で、中国国民党政府内の要人に知人・盟友が少なからずいた。組織の助けで、重慶にたどり着いた。作戦参謀として身に着けた知識や実戦経験を売られ、国民党政府のために尽力したが、仕事の進行は思うに任せず、しかも国民党政府は上から下まで腐敗。これではおそろく陥落は間もない、と判断し、帰国した。と書くと「ふん」である。が、タイでの偽僧侶生活、タイを脱出して中国に入るまでの厳しい旅路(ほとんど逃亡者である)、そして不慣れた中国での生活(ほぼ捕虜に近い)は苦難に次ぐ苦難。粗末なベッドに横たわれば蚊帳が破れていて無数の蚊に刺され、おびた

通勤途上の銀座の歩道は外国人で溢れていた。スマートフォンが新作が出て、その購入に殺到しているのだ。大きな声で会話をしている人が来ようがどうしようが全く頓着しない異邦人たちに占拠された歩道を歩いていて、筆者は強烈な違和感を覚えた。しかし、そんな奇異な感覚も一時的である。その場を過ぎればそれで終わりである。しかし、どこへ行ってもそんな感じで、言葉は通じず(あるいは通じにくく)、しかも、あらかたの人々が敵意悪意の眼差しを向けてくるとしたらどうだろう。そして生活環境、習慣も異なり、はなはだしく不便で、不潔であったとしたら……。果たして耐えられるだろうか。

この本の著者は、敗戦直後から数年、常人ではおそろく耐え難いであろう環境で過ごした。辻政信。旧帝国陸軍の参謀で、数々の作戦を指揮した人物である。最も有名な戦いは、満州の西部国境地帯のノモンハンでの、ソ連との闘い。「ノモンハン事件」である。

だしい数の南京虫に食われ、寝るどころではない。揚げ句の果てに、マリア、チフスを患い、死線をさまよう…。ぞーっとするような生活である。そんなおぞけをふりまわすような潜行記は、しかし、とても興味深い。淡々飄々とした語り口で綴られた命懸けの旅路はスリルとサスペンスに富み、抜群に面白い。そして、随所に、辻が考えた東洋の平和、民族の融和論、わが国が敗れた原因への考察、中国国民党政府の致命的な問題点などが記されている。これらは現場の人、辻政信ならではの切り口で、しかもその切り口は、決して他人事ではないように思われるのである。それにしても一家の主が何年も帰ってこない、しかも、生死すらわからない。家族はさぞかし心配し、不安になり、また立腹したに違いない。実際、「いつでも腹を切るとか言っていて、中国で何してるの?」という内容の手紙を、辻は旅の終盤、夫人から受け取り、涙ながらに読んでいた。帰国後に書かれた本書はベストセラーとなった。辻は許してもらえたのだろうか。(小島つとむ)

辻政信(つじ・まさのぶ) 明治三十五年石川県生まれ。昭和六年陸軍大学卒業。大本営参謀。ノモンハン事件・マレー作戦・ビルマ作戦などを指揮し、作戦の神様の異名を取る。敗戦後、日中合作を企画し、東南アジア・中国大陸を潜行。その後、帰国。二十七年から代議士に連続して当選。三十二年、東南アジア視察の途上、ラオスで連絡を絶ち、いまだ消息は不明である。(上原礼資)

と書くと「ふん」である。が、タイでの偽僧侶生活、タイを脱出して中国に入るまでの厳しい旅路(ほとんど逃亡者である)、そして不慣れた中国での生活(ほぼ捕虜に近い)は苦難に次ぐ苦難。粗末なベッドに横たわれば蚊帳が破れていて無数の蚊に刺され、おびた

刀剣・書画・骨董  
**和敬堂**  
土肥豊久・土肥富康  
〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-2-16  
TEL 0258-33-8510  
FAX 0258-33-8511  
<http://wakeidou.com/>

刀剣 高吉  
古名刀から現代刀、御刀のことならお任せください!  
連絡先 090-8845-2222  
代表者 高島吉童  
東京都北区滝野川7-16-6  
TEL 03-5394-1118  
FAX 03-5394-1116  
[www.premi.co.jp](http://www.premi.co.jp)

銀座日本刀ミュージアム  
**泰文堂**  
〒104-0061 東京都中央区銀座6-7-16 岩月ビル2階  
(株)銀座泰文堂 代表 川島貴敏  
TEL 03-3289-1366  
FAX 03-3289-1367  
<http://www.taibundo.com>

美術日本刀・鐔・小道具・甲冑  
日本の伝統文化を彩る  
JAPAN SWORD CO., LTD.  
**(株) 日本刀剣**  
伊波賢一 Ken-ichi Inami  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-1  
TEL 03-3434-4321  
FAX 03-3434-4324

日本刀・刀装具  
販売・買取  
**美術刀剣松本**  
松本 富夫・松本 義行  
TEL.04-7122-1122  
千葉県野田市清水199-1 刀剣松本 検索

**NEWS & TOPICS**

## 刀剣×クラウドファンディング

(主な終了分)

★**螢丸復活プロジェクト**  
 建武3年(1336)、多々良浜の戦いに大太刀をもって奮戦した阿蘇惟澄が帰陣したときには、太刀はささらのごとく無数に刃こぼれしていた。それを壁に立てかけたまま眠りに落ちると、どこからともなく無数の螢が現れ太刀に止まり、光に包まれるという夢を見る。翌朝目を覚ましてみると、刃こぼれひとつない美しい姿になっていたという。その由来から「螢丸」と呼ばれ、阿蘇神社(熊本県阿蘇市)宮司阿蘇家に長く伝来したが、戦後の刀狩りで行方不明となった。その再現を目指す。  
 ・平成28年1月29日募集終了 支援者3,193人  
 目標金額5,500,000円 支援総額45,120,000円

★**久能山東照宮 刀剣修復プロジェクト**  
 徳川家康を祭神とする久能山東照宮(静岡市)は、家康の指料である重要文化財「太刀 無銘 光世作」(ソハヤノツルキ)や秀忠が寄進した国宝「太刀 真恒」など、歴代将軍が寄進した刀剣を中心に40口を収蔵しているが、先ごろの調査によって、神庫から新たに刀剣8口が発見された。プロジェクトは秘刀の修復が急務として実施された。  
 ・平成30年3月4日募集終了 支援者4,064人  
 目標金額5,000,000円 支援総額29,359,000円

★**石切劔箭神社「刀剣奉納」プロジェクト**  
 石切劔箭神社(大阪府東大阪市)が所蔵する重要美術品「太刀 石切丸」は文化的価値が高く奉納できないため、改元奉祝として作刀当時の石切丸を新たに復元し、その復元刀と矢筒を奉納する。  
 ・令和元年5月15日募集終了 支援者7,980人  
 目標金額10,000,000円 支援総額79,751,388円

★**巖島神社「錦包藤巻太刀・腰刀」復元奉納プロジェクト**  
 構想から7年、巖島神社(広島県廿日市市)所蔵の「錦包藤巻太刀・腰刀」に惚れ込んだ三上貞直刀匠率いるプロフェッショナルチームが刀剣の復元に挑む。復元した刀剣を世界遺産でもある国宝巖島神社に奉納する。  
 ・令和元年12月28日募集終了 支援者188人  
 目標金額2,500,000円 支援総額4,300,000円

★**山鳥毛里帰りプロジェクト**  
 備前刀の最高峰とされ、上杉謙信の愛刀であった国宝「山鳥毛」を生まれ故郷である備前長船へと里帰りさせるための「山鳥毛里帰りプロジェクト」。岡山県瀬戸内市が立ち上げた。1振の金額としては破格の目標額も達成し、太刀は里帰りして備前長船刀剣博物館に展示されている。  
 ・令和2年1月26日募集終了 支援者17,508人  
 支援総額644,013,267円

## 5月末の手続き更新期限迫る

### 種の保存法による「特別国際種事業者」登録

絶滅危惧種を保存するため、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」いわゆる「種の保存法」が施行され、象牙を中心とした国際希少野生動物種の譲渡や輸出入が禁止されている。国内の取り扱いをする業者は「特別国際種事業者」として登録を受けなければならないことは以前、本紙でもご紹介し、多くの方が実行したと聞いている。この登録の有効期間は5年で、有効期間の満了後、引き続き事業を行おうとする方は、その有効期間が満了する1年6カ月以内の更新申請受付期間に、登録の更新の申請を行う必要がある。なお、この手続きを怠った場合は、自動的に登録が失効する。

本紙を見て登録に至ったほとんどの方は、「もう5年も経ったか?」と思われるだろうが、特例があった。

**特別国際種事業者**  
(象牙製品等を取り扱う事業者)

登録番号	5-2-13-00
氏名又は名称	〃
住所	〃
代表者の氏名	〃
譲渡又は引渡しの際の承認を受ける特別特定事業者の種別	象牙製品の加工品
登録の有効期間の満了の日	2021年5月31日

「種の保存法」第5条第2項第2号の登録の有効期間に関する法律(平成4年法律第70号)第33条の4第1項の規定に基づき、登録を行っており、象牙製品等を取り扱うことができます。

2018(平成30)年5月31日までに象牙に係る「特定国際種事業者」としての届出をしていた事業者は、2018(平成30)年6月1日付けで「特別国際種事業者」の登録を受けたものとみなされ、その届出が1999(平成11)年3月18日から2018(平成30)年5月31日までの事業者については登録の有効期限が2021(令和3)年5月31日までとする経過措置が種の保存法の付則によって定められています。これらの更新申請は、1999(平成11)年3月18日から2018(平成30)年5月31日までに届出をした事業者については、2019(令和元)年12月1日から2021(令和3)年5月31日までの間に行うこととされています。(本件掲載HPより抜粋)

つまり、本紙も含め登録を斡旋された当時のわれわれは、まず特定国際種事業者登録をし、後に「特別国際種事業者」になっているので、この附則が適用されて今年の5月31日までに更新が必要となる。

手続きに必要な書類は特別国際種事業者登録(更新)申請書(様式第1、様式第1別紙1、様式第1別紙2)、登録手数料は33,500円

書類は、記載例をよく見て記入していただきたいとのこと。詳しくは事業登録機関「自然環境研究センター」のウェブページをご覧ください。

同法を設け、国内に限るとはいえ象牙を売買している国は日本だけとのこと。国際的に法順守の姿勢を示すため、申告後の報告義務は精度が求められ、不備や無登録の扱いには厳しいと聞く。繰り返しになるが、事業廃止(扱わないと決定)した場合は、その日から起算して30日以内に自然環境研究センター理事長に届出をすることとなる。更新するかどうか、判断が難しいかもしれない。

〈登録の申請書提出先及びお問い合わせ先〉  
 一般財団法人自然環境研究センター 国際希少種管理事業部  
 www.jwrc.or.jp ☎03-6659-6018(平日10~17時) (伊波賢一)

**致道博物館** 〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18 ☎0235-22-1199 <https://www.chido.jp/>

鶴岡に春を告げる恒例行事となりました「第27回鶴岡雛物語」をご案内します。市内各所でさまざまな魅力ある展示が行われますが、以下は致道博物館の主な見どころです。

①詠えが優美な大名家ならではのお雛飾り  
 ②徳川家や細川家から興入れした姫君が持参した雛道具  
 ③江戸の名工・末吉石舟による大きさ約50センチ!の古今雛  
 ④職人の技が凝縮された市内菓子店のお雛菓子  
 10店舗のお雛菓子が揃って見られるのは致道博物館だけです。  
 会期:3月1日(水)~4月4日(日)

**致道博物館 展覧会案内 2021(令和3)**

~小さな窓から大きな世界を~  
**磯貝吉紀ドールハウスの魅力**  
 2021年2月19日(金)~4月20日(日)  
 ドールハウス作家・研究家の第一人者であった磯貝吉紀氏(1933-2011)の作品が一堂に集った2017年に寄贈された作品の他、愛蔵のために製作した「けいこの家」を特別展示。また、展覧中に制作していた未完の遺作「テレビ屏のスタジオ」(仮称)を初公開します。

きんぼうざん 開山1350年記念  
**金峯山と修験道** 一語り継ぐ歴史—  
 7月22日(木)~8月31日(日)  
 古くは多くの修験者が祈禱・参籠を行い、今も人々に親しまれる折りの山・金峯山。庄内を治めた大名・最上氏や酒井氏に保護され、本社修復事業も行われました。出羽三山や鳥海山とともに庄内の修験の山として刻まれた長久の歴史、貴重な文化財の数々を紹介します。

**新収蔵品展**  
 ~絵画・書跡・錦絵など~  
 12月18日(土)~2022年2月15日(日)  
 近年寄贈された美術工芸品の中から、江戸時代後期から昭和時代初期までの画人・書家による作品を紹介します。「洛中狂遊園図屏風」(六曲一双)、太田義一「松竹梅草花図横巻」など。  
 論絵「庄内藩自叙傳之巻」 武川國隆

酒井家庄内入部400年記念 プレ企画展  
**藩主の宝、藩士の宝**  
 9月3日(金)~10月19日(火)  
 2022年、酒井家が入部して400年を迎えます。節目の記念事業に先立ち開催するプレ企画展。旧藩主酒井家は七福、旧庄内藩士の家に伝わる武器や掛け軸、茶道具類を出品。重文「短刀銘吉光」、祭文・後水尾天皇三大学「忠臣歌」など。  
 重文「短刀銘吉光」 山形市立博物館 庄内藩時代  
 祭文・後水尾天皇三大学「忠臣歌」など

歴史の扉4  
**鶴ヶ岡城** 一守り、働き、暮らす拠点—  
 2022年2月19日(土)~4月10日(日)  
 江戸時代、庄内藩の政庁として機能した鶴ヶ岡城。中世以来、庄内を治める中心として、何度も増改築が繰り返されてきました。本丸には藩主が居住し、三の丸およびその周辺には藩士が集住して仕事をし、城下町を整備して町民の暮らしに寄り添いました。「守る」「働く」「暮らす」をキーワードに歴史を掘り起こします。

紙巻洞コレクション  
**日本人形の美**  
 4月24日(土)~6月6日(日)  
 日本の伝統文化に育まれた人形。それは様々な美術工芸の集大成であるとともに、祈りや祝いの心を託したヒトガタでもあります。人形研究家の林直輝氏のコレクションから「造形の美」と「心の美」を備えた優品約60点を紹介します。  
 「御所人形 錦垣」野口光彦 作 昭和時代初期

日本名刀展シリーズ  
**山形ゆかりの刀工**  
 10月22日(金)~11月28日(日)  
 室町時代の月山派をはじめ、県内には名だたる刀工が多くいます。本展では、新々刀の祖・水心子正秀(赤湯)、その門人・大慶直胤(山形)、酒磨の弟子・斎藤清人(塩海)、米沢藩や庄内藩のお抱え刀工に加え、現代刀工まで、山形ゆかりの刀工の作りを紹介。

第28回 **鶴岡雛物語**  
 2022年3月1日(日)~4月3日(日)  
 旧庄内藩主酒井家や旧家臣の雛人形と雛道具、鶴岡伝説のお雛菓子をご紹介します。特別企画や体験イベントも充実。大名家の典雅な雛飾りをお楽しみください。

**白幡進 回顧展**  
 「内なる月山」を継ぎつづけた画人の軌跡  
 6月9日(水)~7月19日(日)  
 白幡進(1934-2018、鶴岡市出身、金沢美術工芸大学油画科卒)氏の、画業の軌跡を辿る大回顧展。美術団体「白雲社」の会員・委員として長く運営に携わり、委員長として鶴岡の芸術文化振興に奔走。身近な人々や風景から、内包する精神世界を描いた晩年のテーマ「人間の生と死」まで、広く紹介。  
 「新生1」2009年制作

第42回 **鶴岡書道会 会員展**  
 12月2日(木)~12月14日(日)  
 鶴岡市にあり、流派を超えて活動する書道団体。昭和8年創設。

第14回「抄の会」作品展 11月2日(火)~7日(日)  
 第15回 寒蘭展 11月22日(月)~28日(日)  
 第17回 東洋蘭展 2022年3月16日(水)~21日(月)  
 ※日程が変更となる場合もごさい。またご了承ください。  
 ★今年度の合同茶会(表千家、裏千家、逸州流、大日本茶道学会)は、お休みします

## 催事情報

### 大阪歴史博物館

〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32 ☎06-6946-5728  
http://www.mus-his.city.osaka.jp/

#### 建てる—大阪職人の道具と技—

古来より海に開けた大阪は、大陸の先進技術を最も早く吸収し、展開する場所でありました。建築技術は四天王寺建立に始まり、難波宮、大坂城造営を経て現在へとつながっています。今回は昨年12月に「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを記念し、当館所蔵品の中から、伝統的建築技術にかかわる道具、建具雛形、指図、考古資料などを展示します。

会期：2月17日(水)～4月12日(月)



建具製作用具

### 刀剣博物館

〒130-0015 東京都墨田区横網1-12-9 ☎03-6284-1000  
https://www.touken.or.jp/museum/

#### 第66回重要刀剣等新指定展

(公財)日本美術刀剣保存協会の審査事業は、日本刀の調査保存を目的に、昭和23年より行われ、現在では真偽鑑定を主目的とする基本の保存審査を第一義とし、より美術工芸品としての格づけを重視した審査として、特別保存、さらには重要刀剣等、特別重要刀剣等といった段階を設けて審査を行っています。うち重要刀剣等審査は、作品の正真はもちろん、資料性や健全性を兼ね備えた完成度の高い美術品として、優作であることの指定であり、毎年1回欠かすことなく審査は継続され今日に至っております。

日本刀の高い品格と真摯なるくろがねの美を、そして刀装・刀装具に表れた工芸美の粋を心ゆくまで鑑賞ください。

会期：2月27日(土)～4月11日(日)



### 高崎高島屋 (5階アートギャラリー)

〒370-8565 群馬県 高崎市旭町45 ☎直通027-330-3956  
https://www.takashimaya.co.jp/takasaki/

#### 技を繋ぐ—刀工宮入小左衛門行平—門展

宮入小左衛門行平の相州伝を究めた最新作を中心に、伝統の技を受け継ぐ一門の川崎晶平(埼玉)・河内一平(長野)・根津秀平(長野)・上山輝平(岡山)各刀工作品を展示・販売します。

- 1957年 人間国宝・故宮入行平の次男として長野県坂城町で生まれる
  - 1993年 新作名刀展にて高松宮賞を受賞(2000年までに6回)
  - 1996年 刀工銘を曾祖父「小左衛門」と父「行平」から襲名
  - 2013年 第8回お守り刀展覧会にて文部科学大臣賞を受賞
  - 2019年 全日本刀匠会会長に就任、現在に至る
- 会期：3月24日(水)～29日(月) 最終日は午後2時閉場



### 大阪市立美術館

〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-82 ☎06-6771-4874  
https://www.osaka-art-museum.jp/

#### 特別展「豊臣の美術」

日本史上もっとも立身出世を遂げた人物は誰か、と問われたら、大多数の人が最初に名前を挙げる人物、それは「豊臣秀吉」ではないでしょうか。

織田信長の遺志を継いで全国統一を成し遂げ、大坂に政治拠点を定めた天下人・秀吉とその一族は、強大な権勢と富を手中に収め、絢爛豪華な桃山文化を隆盛へと導きました。16世紀末から17世紀初頭のわずか30年足らずの短い期間でしたが、豊臣氏がリードした文化創造のトレンドは、人々の美意識に大きな変革を迫り、桃山美術の潮流を醸成する原動力となりました。

大坂の陣で敗れて滅亡の道をたどった豊臣氏に直接関わる美術工芸関係の遺品は、勝者である徳川氏のそれに数的には及ぶべくもありません。しかしながら、関係寺社、皇族・貴族、恩顧の大名らの元を経て、少なからぬ優品が今日まで伝えられています。

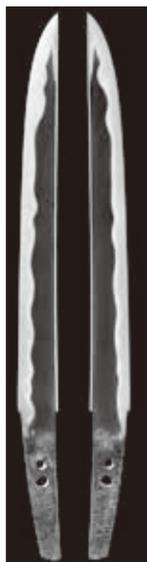
秀吉の神格化に関わる多数の肖像、秀吉夫妻の遺愛品である優美な時絵調度(高台寺時絵)をはじめ、唐物茶道具、刀剣など、一族が収集した名物の数々、あるいは御用絵師・狩野派による寺院障壁画や太閤秀吉を追慕する風俗画まで、古文書、甲冑類を除いても、その内容は実に多彩です。

本展では、これら豊臣ゆかりの品々から国宝3件、重要文化財22件を含む約80点の精華を寄せ、激動の時代を映す壮麗な造形を紹介します。桃山の「夢」を開いた、天下人の大いなる威光と美意識を体感いただけることでしょう。

会期：4月3日(土)～5月16日(日)



重要文化財《豊臣秀吉像》京都・高台寺蔵



国宝《短刀銘左「筑州住」号じゅらく(太閤左文字) ふくやま美術館蔵

会場によって休館日が異なります。事前に確認の上、お出かけください。現下の状況で入場制限もありますので、ホームページをご覧ください。

### 京都文化博物館

〒604-8183 京都市中京区三条高倉 ☎075-222-0888  
https://www.bunpaku.or.jp/

#### よみがえる承久の乱—後鳥羽上皇 vs 鎌倉北条氏—

12世紀における院政の展開、1180年代の内乱、そして東国での鎌倉幕府の樹立を経て、13世紀初頭には後鳥羽上皇が列島を統べる体制が成立します。後鳥羽上皇は、勅撰集『新古今和歌集』に結実する和歌をはじめとして、多芸多能の帝王でした。



しかし承久3年(1221)、前代未聞の事件「承久の乱」が起こり、後鳥羽上皇が北条氏率いる鎌倉御家人に合戦で敗れ、隠岐に流されたのです。この承久の乱を機に、鎌倉幕府の優位の下で公家と武家が並存する時代となりましたが、やがてその体制にも終止符が打たれ、南北朝の内乱が展開することとなります。

本展覧会では、近年進展著しい当該期の最新の研究成果を踏まえて、皇族・貴族・武士・僧侶など、この時代の人々の息吹を伝える古文書・肖像画・刀剣・仏画や、この時代を描いた絵画類から、日本史上の重要事件の歴史的意義に迫ります。2021年は承久の乱から800年。今に蘇る乱の様相をご覧ください。

会期：4月6日(火)～5月23日(日)

### 東京国立博物館 (本館5室・6室)

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 ☎050-5541-8600(ハローダイヤル)  
https://www.tnm.jp/

#### 武士の装い—平安～江戸

平安時代から江戸時代の刀剣・刀装・甲冑・馬具・装束や、肖像画・書状などを通して、武士の装いを紹介します。甲冑は、三春藩主秋田家に伝来した中世を代表する胴丸の一つ「櫻烏糸肩赤威胴丸」をはじめ、胴丸・腹巻・当世具足や兜の代表的な作品を展示します。刀剣は加賀・前田家に伝来した相州行光の短刀とその合口などを、刀身と刀装が揃う場合は同時に展示するなどして、さまざまな形式や時代の刀装を紹介いたします。

会期：1月2日(土)～4月11日(日)

### 岡山タカシマヤ (7階美術画廊)

〒700-8520 岡山市北区本町6-40 ☎086-232-1111  
https://www.takashimaya.co.jp/okayama/

#### お守り刀展「願いを込めて」

林原美術館(岡山)、鉄の展示館(長野)、横浜高島屋(神奈川)と各所で展示された全日本刀匠会主催「お守り刀展」の凱旋展示です。今回販売も致します。

〈ごあいさつ〉古来より私たち日本人は、刀剣の中に多くのものを求めてまいりました。武器であることはもちろんのこと、刀身の中に現れた現象を自然界にある景色に見立て、その美しさを愛でたり、また、家族や一族の安寧や繁栄など、多くの思いを託す祈りの象徴のようなものでありました。この「お守り刀展」で現代の刀剣作家が祈りの思いを具現化した作品をご覧ください、会場に足を運んでくださる方々の健やかな人生を願いたいと存じます。

会期：4月28日(水)～5月4日(火) 最終日は午後3時閉場

### 茨城県立歴史館

〒310-0034 茨城県水戸市緑町2-1-15 ☎029-225-4425  
https://rekishikan-ibk.jp/

#### 特別展II「鋼と色金—茨城の刀剣と刀装—」

近世以前の茨城では、各地で刀工と金工師が鍔(つち)や鑿(たがね)をふるい、あまたの刀剣とその外装たる刀装・刀装具が生み出されました。本展では、当地に産した刀剣類の優品を中心に、郷土の刀剣文化を物語る史資料を展示いたします。千変万化の鋼と多種多彩な色金が織りなす美の世界をご堪能ください。

併せて一橋徳川家記念室では、重要文化財「一橋徳川家関係資料」より、同家に伝来した刀剣類を、その伝来とともにご紹介します。

会期：2月20日(土)～4月11日(日)



### 中央区立郷土天文館 (タイムドーム明石)

〒104-0044 東京都中央区明石町12-1 ☎03-3546-5537  
https://www.city.chuo.lg.jp/bunka/timedomeakashi/annai.html

#### 企画展「江戸のカナモノ」

中央区内の遺跡で出土した金属製品を集めた、初の展示です。「衣」「食」「住」を中心に、そのほかさまざまな江戸の「カナモノ」(金物)をご覧ください。貴重な機会です。

「衣」では、簪やお歯黒道具、武具の刀装具などを、「食」では鍋や釜、包丁やおろし金など、「住」ではさまざまな釘や飾り金具、錠前や鍵、文房具などを展示します。

中央区の遺跡は低地にあり、多くの金属製品が土中にパックされた状態で腐りきらずに残っていました。これほど多種多様な金属製品が大量に出土する地域は、中央区ならではと言えます。江戸時代の人々が実際に使っていたカナモノを通じて、当時の生活に触れてみませんか。

会期：2月6日(土)～3月21日(日)

